
隣の席/沖神/3Z

深海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

隣の席 / 沖神 / 3Z

【Nコード】

N6830A

【作者名】

深海

【あらすじ】

隣の席のアイツは嫌なヤツ。だけど気になる存在。

私の隣に陣取ってるコイツ、沖田。いつも私にちょっかいかけてくる嫌な奴アル。

「おいチャイナ。教科書見せてくれイ」

「またアルか。お前忘れ物ばかりで、学校に何しに来てるネ」

一日に一教科は必ず教科書を忘れて来るネ。その時間だけは机をくつつけて、肩もくつつけて一緒に教科書見るアルヨ。

「チャイナ消ゴム」

「偉そうに何ヨ。この3Zの女王、神樂の消ゴム借りようとするなんて百年早いネ。出直して来いゴミ虫が」

「俺アちゃんと百年前から貸してくれって言ってたじゃねーかい。百年も無駄に生きて得たのは物忘れかい。全く使えねーな」

たまに冗談を言って笑いあったりもしたネ。
もしかしたら私コイツの事好きかもしれないヨ。

「あー、なんかお前らの顔の配列飽きたから席替えするぞ」

シヨツキング！

あの能無し天パーのせいで席が離れてしまっヨ。
嫌アル。席替えなんてしたくないヨ。

「おら、次神楽。早く引け」

席替えのくじ引きで手が震えたなんて産まれて初めてネ。
しかも三番かヨ…。最前列の黒板の真ん前。最悪ネ。

「なんだチャイナ。特等席とはずいぶんついてるじゃねーかい」

嫌味な奴ネ。

コイツが引いたのは三十番。全然駄目アル…。

ふ、ふんっ！　こんな奴と離れてせいせいするアル！……でも姿も見えないなんてちよつと寂しいヨ。今度から私の教科書貸せないネ。

「先生、俺ア目が悪いんでさア。前の席と取り替えてくだせエ」

「あん？お前ずつと後ろの席だったじゃねーか」

「数分前から急に。遺伝なんでさア」

「そついう事なら仕方ねーな……おい、ツラ。変わってやれ」

いきなり視力低下なんてどんだけ迷惑な遺伝子ネ。

天パーも信じてんじゃねーよカスが。そんなんだから髪の毛が歪むネ。

つてツラ……まさか……。

「ツラではない。桂だ」

「はいはい、わかったから早く退きなせエ」

隣に沖田が座りやがったネ。
やばいアル。顔がにやけるネ。

「またお前と隣なんてついてないネ」

「おっと教科書忘れちまった。チャイナ、見せてくれイ」

「仕方ないネ…」

期待してもいいアルか。
お前も私の事…。

f i n

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6830a/>

隣の席/沖神/3Z

2010年10月11日01時23分発行